

第18回人権研究交流集会分科会

PFAS問題を考えるつどい

PFASとは有機フッ素化合物の総称で、人間が体内に取り込むと癌などの健康被害を引き起こす危険性があると指摘されています。米軍基地や産廃処分場・PFAS関連工場周辺などで高濃度の検出が相次ぎ、全国で住民運動が起きています。PFASについて基礎的な知識を学ぶとともに、住民運動の現状や司法における取り組みの可能性を知り、住民運動と協力する弁護士ネットワークの立ち上げを目指します。ぜひご参加ください。

2024年**11**月**23**日(土) 13:00~16:30

場所 **TKP品川カンファレンスセンター 7A**

〒108-0074 東京都港区高輪3-25-23 京急第2ビル
(品川駅高輪口3分)

オンラインでの参加も可能です

プログラム

諸永 裕司 氏 (フリージャーナリスト 元朝日新聞記者)

「永遠の化学物質～PFAS汚染の実態」

根木山 幸夫 氏 (多摩地域のPFAS汚染から命と健康を守る連絡会)

「PFAS問題に関する全国各地の住民運動の動き」

大山 美宏 医師 (健生会・昭島相互診療所)

「PFASと健康障害」

高木 吉朗 弁護士

「PFAS問題と日米地位協定・環境補足協定」

阿部 浩基 弁護士

「工場由来の清水PFAS問題の現状と今後」